

# 不登校の減少に向けた取組みについて

不登校児童生徒の割合は、依然として全国や県の割合を上回っており、不登校の減少に向けた取組を進めていくことが、喫緊の課題となっています。今年度、学校の不登校対応力の向上を図るために、新たに教育委員会内に「不登校対策チーム」を設置しました。不登校対策チームの取組や分析結果とともに、学校はどのような取組をしていくとよいかについて、今後、「不登校対策チームまとめ便り」の中でお伝えしてまいります。

## 「不登校対策チーム」の取組

今年度  
新たに設置

### 学校の不登校対応力の向上を図る

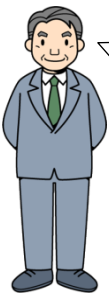
不登校増加要因の  
調査分析



分析結果を踏まえた  
学校への支援

構成メンバー：不登校対策担当指導主事，教育相談担当指導主事  
学校いきいき専門員，SSW（スクールソーシャルワーカー）

## 「学校訪問」で聞き取った現場の先生方の声



「担任が一人で抱えこまない」ように、周りの先生が担任を支えながら、組織で動くことが何よりも大切ですね。様々な立場から手立てを考え、個人の考えではなく学校で話し合った結果として動いていくように共通理解を図っています。



子どもだけの問題ではなく、子どもを支える保護者の影響もとても大きいと感じます。だからこそ、保護者と良い関係を築くことが必要です。「伝えること」ばかりが先行してしまうと、なかなかうまくいかないのので、「一緒に考えよう」という姿勢で保護者に向き合わないといけませんね。



学校が楽しいと思えるようにするには、子どもに「学ぶことの楽しさ」を味わわせることが大切だと思います。達成感につながるような「その子に合った課題」を与えるように心がけています。



進級して何とか頑張ってきた子ども、連休を終えてから少しずつ息切れが始まっているように感じます。「気になる兆し」を見逃さないようにしながら、学校の中で多くの先生でかわりを持ち、その子を柔らかくフォローしていくことが大切だと思います。



**1 学期前半を振り返って学校の取組を再確認しましょう！**

組織で

担任

子ども

保護者

を支える